

12歳の  
ための

# 小説すらすら講座

最終回 結局、小説はカンタンなの!?

小説がす～らすら書けちゃう!?

この講座を参考にして、小説を書いてみよう!

『小学五年生』で  
大活躍中の  
文具天国  
のメンバーだ!



監修/奈良裕明(作家)

89年「チンドン・ジャン」にて第13回すばる文学賞受賞。96年より「松涛スクール/文章の学校」に講師として参加。また、自治体主催の文章教室で、11歳から82歳まで指導した実績を持つ。著書に「小説を書くための基礎メソッド」(雷鳥社刊)など。

自由に思うまま“自分  
だけのお話..をつくらう

恋愛もの、ファンタジー、ミステリー...  
なんだって、頭に浮かぶことを自由に書  
けるのが小説。結末まで決めて書くのも  
よし、思いついたことを書くのもよし。  
書きたいと思った話こそが、自分にとっ  
て最適のジャンルやテーマだ!

もっと  
おもしろい話を  
たくさん  
書きたいな!

最初はむずかしいと  
思ったけど、  
楽しかったー!

今回で本講座はラスト  
だ。小説を書くことに  
ついて、いろいろな学んで  
きたけどどうだった?  
この一年を振り返って  
みよう!

つまり小説を書くってどういうこと!?

どんな長い小説も  
“小さな物語..の積み重ね

まずは短い物語(400字詰め原  
稿用紙で5枚程度)を書くこと  
から始めよう。短い話が書き  
上げられれば、はげみになり自  
信もつく。その小さな起承転  
結の積み重ねが、大きな起承  
転結に...10枚、20枚と長い物  
語が書けるようになる!

“書くことは楽しい!..  
がすべて

書いていて途中でイヤになっ  
てしまったら中断したっていい。  
おもしろい話が浮かんだり、  
書きたい気分になったら、  
再び原稿用紙やパソコンに向  
かえばOK。自分のスタイル  
で楽しんで書く! この気持ち  
が小説を書く原動力になる!

万年筆先生の文学フチフチメモ

順調に小説を書き進めていたのに、急に書けなくなった、なんてことはない  
かな? それ「スランプ」だ。あの文豪・谷崎潤一郎(1886~1965年)も  
大正時代に長いスランプに陥った。関東大震災(1923年)を契機に関西へ  
移住したのがきっかけで、スランプを脱出したといわれている。また、ある  
小説家は、書けないときは旅行に行くと、エッセイに記している。つまりは  
自先を変えてみる。書けない! と部屋でウンウン唸っているより、外  
に出かけよう。書きたい題材やヒントにしたい人やモノがそこにあるぞ!!

